

# 「集計方法の設定」 ご利用方法

TimeP@CK は、3 種類の集計方法の設定をご用意しております。

TimeP@CK のシフトは、最大 99 パターンまで作成ができますので、お客様の就業規則にあった集計方法の種類を選んでいただき、ガイドに沿って設定をおこなってください。

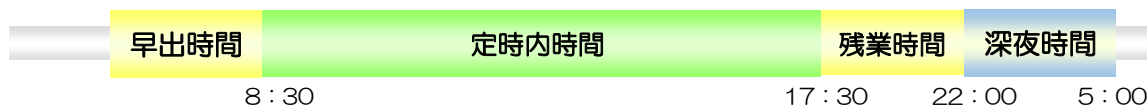
## 正社員用 集計方法の設定（遅刻/早退あり）

### 【こんなお客様向け！】

- ✓ 早出・定時・残業の時間帯が決まっている
- ✓ 遅刻や早退の集計をしている

正社員の集計に多く使われており、一番オーソドックスな設定となっております。

定時・残業といった時間帯が固定されている様な勤務形態  
遅刻早退の回数と時間数も計算します。



この集計方法で設定をする場合は、[「3-2.サツと勤怠 with 正社員用 集計方法の設定」](#)へおすすみください。

## パート用 集計方法の設定（遅刻/早退なし）

### 【こんなお客様向け！】

- ✓ 出勤した時間から退勤した時間までを集計したい
- ✓ 勤務時間によって、休憩時間が異なる

パートの集計に多く使われており、純粋な勤務時間を集計する設定となります。  
そのため、遅刻や早退の集計をしない設定となっております。

出勤から退勤打刻までの実労働時間数を計算したい場合の勤務形態。（8 時間超えた分は残業など）



この集計方法で設定をする場合は、[「3-2.サツと勤怠 with パート用 集計方法の設定」](#)へおすすみください。

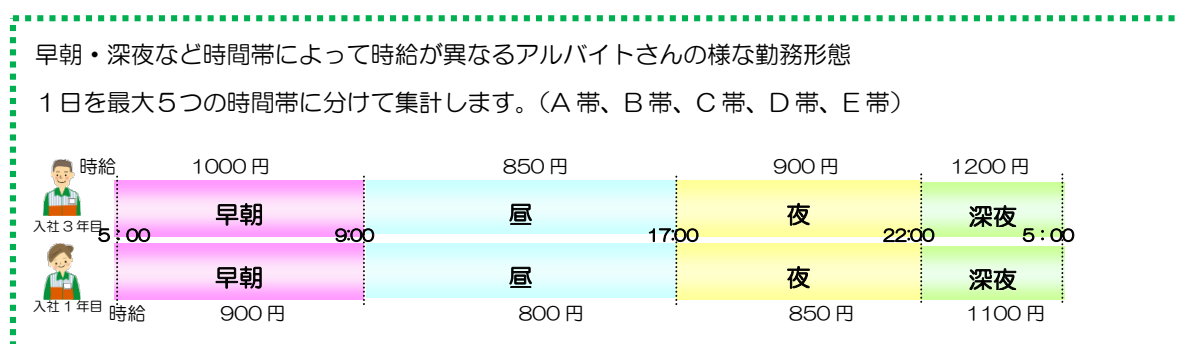
## アルバイト用 集計方法の設定（時間帯別）

### 【こんなお客様向け！】

- ✓ 1日を複数の時間帯でわけて、どの時間帯に何時間勤務しているか集計したい

アルバイトのような勤務する時間帯によって時給が異なる勤務形態の場合に多く使われており、最大5つまで時間帯を設定して集計をします。

クリニックなどでも、午前診療・診療間時間・午後診療などの設定で運用される方もいらっしゃいます。



この集計方法で設定をする場合は、**「3-2.サツと勤怠 with アルバイト用 集計方法の設定」**へおすすみください。